
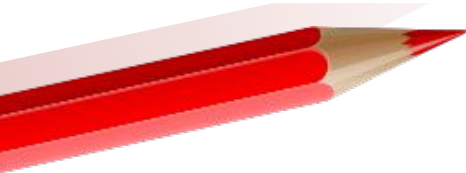




GIGAを導入して  
みて

- 
- ・Google WorkspaceのID/Passwordの配布  
⇒結果としてPC利用等は保護者に委ねる
  - ・HPやClassroomに教材・課題の提示
  - ・小学校で利用していたタブレットを希望者に  
貸与(ポケット Wi-Fi)
- 

**2020年4月～**

# GIGAの対応

1人1台端末

校内LAN環境整備

令和元年度補正予算・令和2年度第1次補正予算を合わせた全体像

## GIGAスクール構想の実現

4,610億円 (文部科学省所管) 令和元年度補正予算額 2,318億円  
令和2年度第1次補正予算額 2,292億円

Society5.0時代を生きる子供たちに相応しい、誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現するため、「1人1台端末」と学校における高速通信ネットワークを整備する。

目指すべき  
次世代の  
学校・  
教育現場

- ✓ 学びにおける時間・距離などの制約を取り払う ~ 遠隔・オンライン教育の実施~
- ✓ 個別に最適で効果的な学びや支援 ~ 個々の子供の状況を客観的・継続的に把握・共有~
- ✓ プロジェクト型学習を通じて創造性を育む ~ 文理分断の脱却とPBLによるSTEAM教育の実現~
- ✓ 校務の効率化 ~ 学校における事務を迅速かつ便利、効率的に~
- ✓ 学びの知見の共有や生成 ~ 教師の経験知と科学的視点のベストミックス(EBPMの促進)~

### 新しいICT環境 クラウド

高速大容量  
機密性の高い  
安価なネットワーク



家庭での活用



1人1台端末



### 児童生徒の端末整備支援

- 「1人1台端末」の実現 **2,973億円**  
国公立の小・中・特支等義務教育段階の児童生徒が使用するPC端末整備を支援  
対象：国・公・私立の小・中・特支等  
令和元年度 1,022億円  
国公立：定額(上限4.5万円) 令和2年度第1次 1,951億円  
私立：1/2(上限4.5万円)

- 障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備 **11億円**  
視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒が、端末の使用にあたって必要となる障害に対応した入出力支援装置の整備を支援  
対象：国・公・私立の小・中・特支等  
国立、公立：定額、私立：1/2

### 学校ネットワーク環境の全校整備 **1,367億円**

- 小・中・特別支援・高等学校における校内LAN環境の整備を支援  
加えて電源キャビネット整備の支援 **令和元年度 1,296億円**  
令和2年度第1次 71億円  
対象：国・公・私立の小・中・特支、高等学校等  
公立、私立：1/2、国立：定額

### GIGAスクールサポーターの配置 **105億円**

- 急速な学校ICT化を進める自治体等のICT技術者の配置経費を支援  
対象：国・公・私立の小・中・高校・特支等  
国立：定額、公私立：1/2 令和2年度第1次 105億円

### 緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備

- 家庭学習のための通信機器整備支援 **147億円**  
Wi-Fi環境が整っていない家庭に対する貸与等を目的として自治体が行う、LTE通信環境(モバイルルータ)の整備を支援  
対象：国・公・私立の小・中・特支等  
国立：定額(上限1万円)、私立：1/2(上限1万円)
- 学校からの遠隔学習機能の強化 **6億円**  
臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、学校側が使用するカメラやマイクなどの通信装置等の整備を支援  
対象：国・公・私立の小・中・高校・特支等  
公私立：1/2(上限3.5万円)、国立：定額(上限3.5万円)
- 「学びの保障」オンライン学習システムの導入 **1億円**  
学校や家庭において端末を用いて学習・アセスメントが可能なプラットフォームの導入に向けた調査研究

1

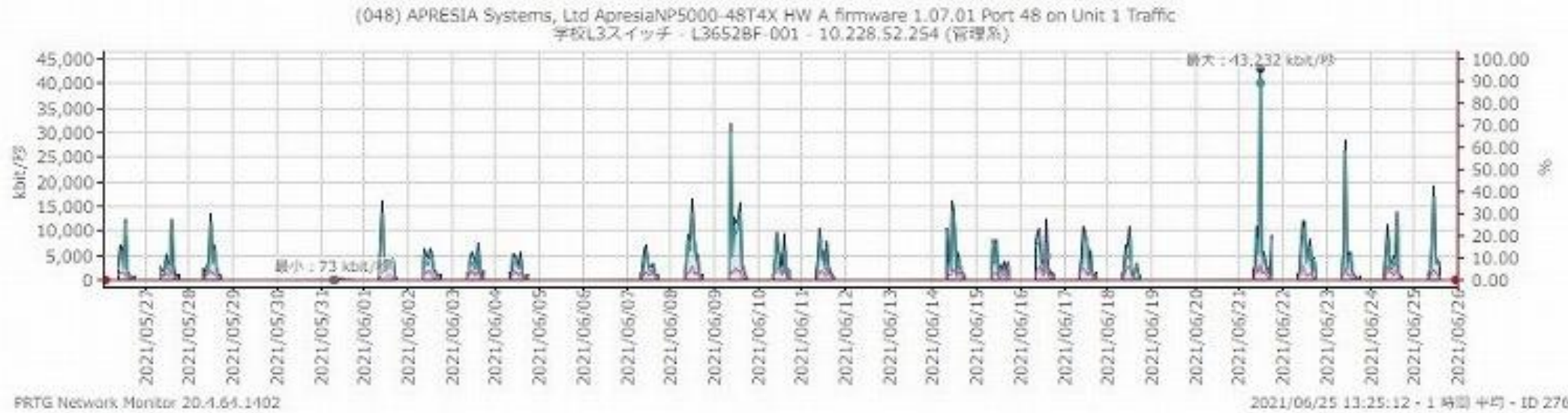
2021年3月まで

MEXTより

# ・調査 A学校

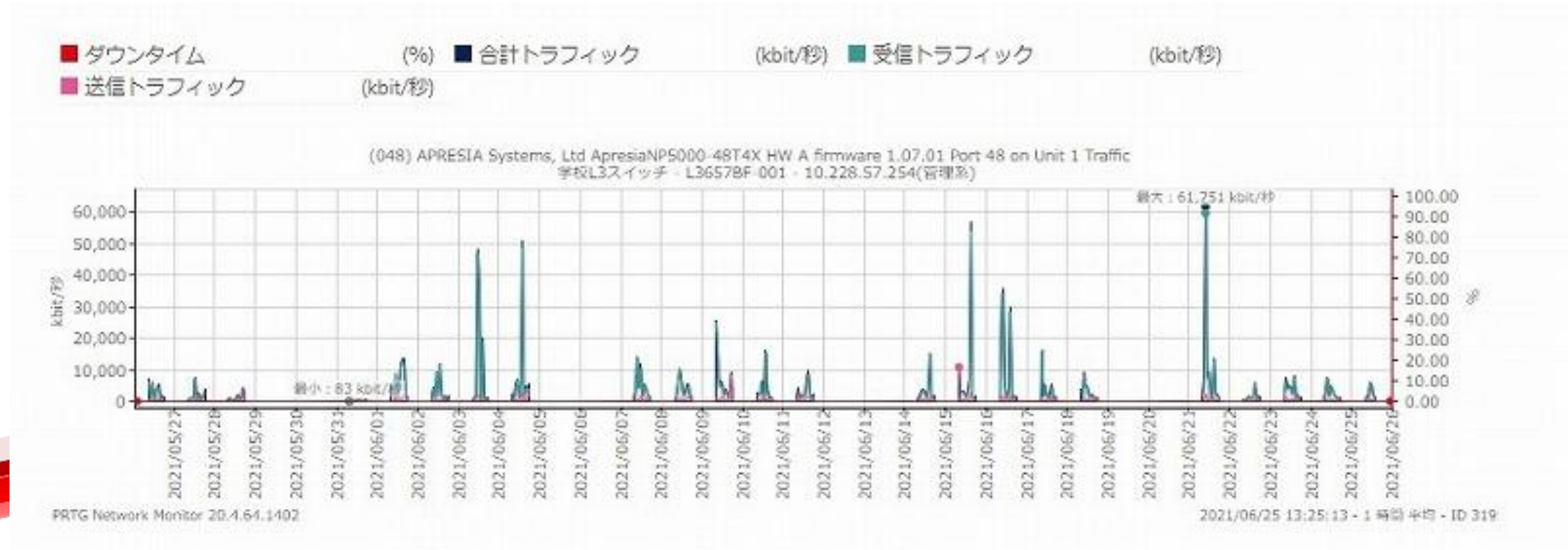


■ ダウンタイム (%) ■ 合計トラフィック (kbit/秒) ■ 受信トラフィック (kbit/秒)  
■ 送信トラフィック (kbit/秒)



つながらない・遅い・落ちる

# ・調査 B学校



つながらない・遅い・落ちる

学校回線を集約接続

ネットワークの帯域不足

## (2) インターネット環境の現状

・インターネット接続方式

自治体等数ベース (1,815自治体等)



(単位:自治体等)

※ 複数の接続方式がある場合は、主たる接続方式を回答

学校数ベース (32,787校)



(単位:校)

※ 自治体等数ベースの回答より、自治体等の学校数を集計

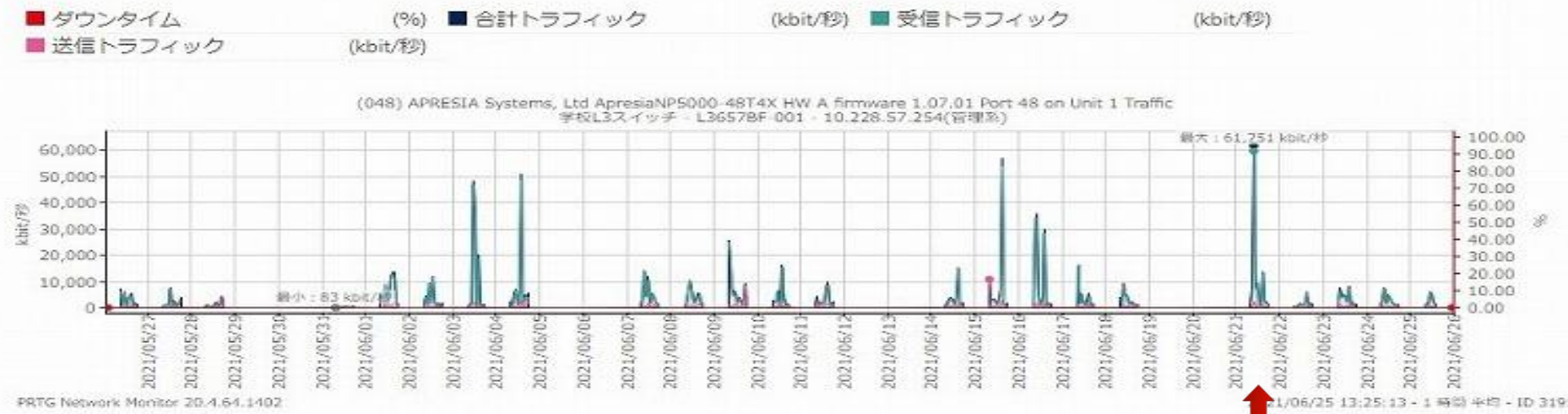
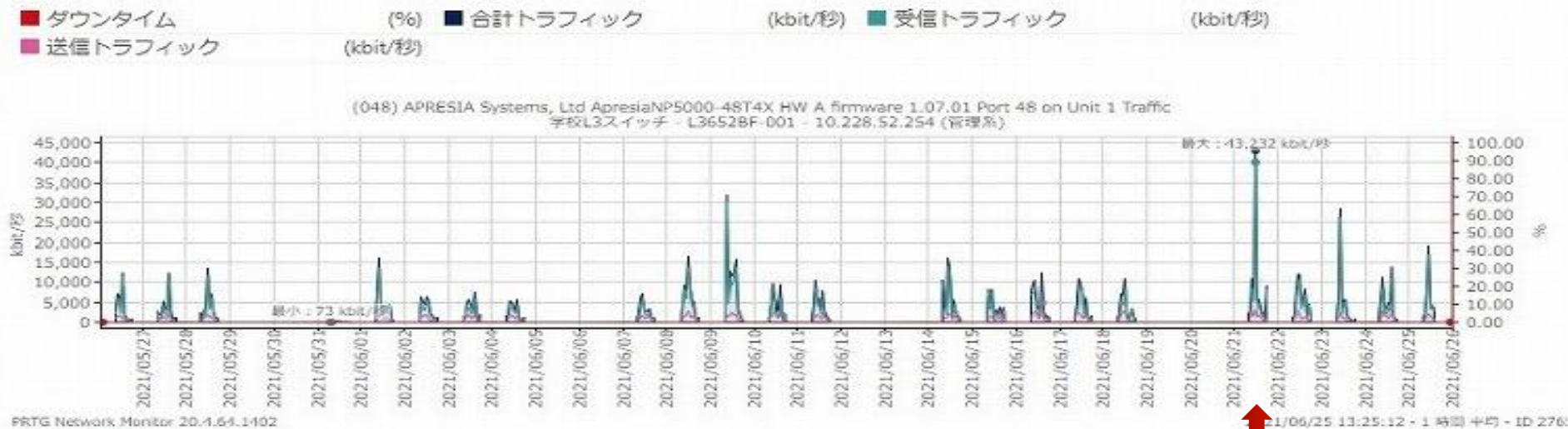
⇒ 各自治体等に対し、学校におけるネットワーク環境の安定的な確保について確認を行い、必要な施策を講じる  
ことについて通知

(インターネット環境の詳細(接続速度、同時利用率等)については、多くの自治体等で校内ネットワーク整備が  
完了する5月以降に改めて調査予定)

MEXTより

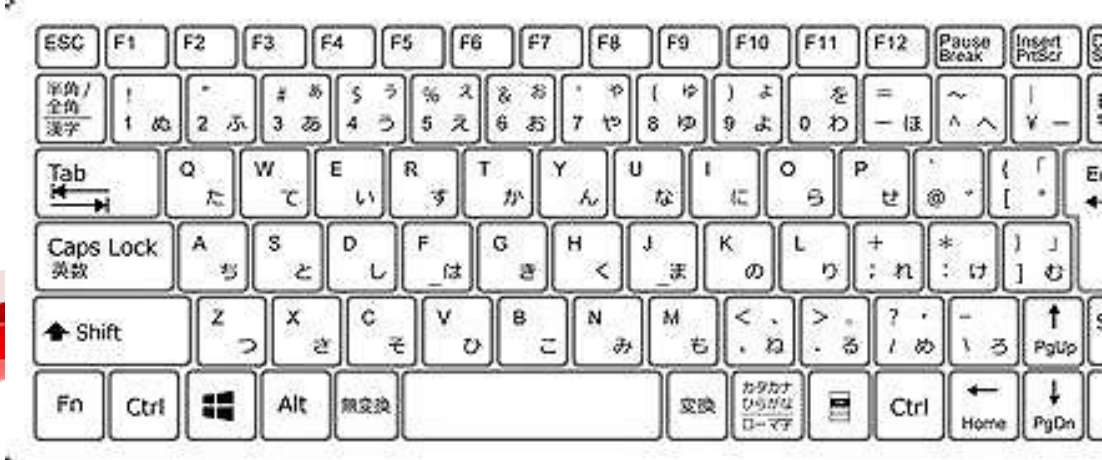
GIGAスクール構想の実現に向けた ICT環境整備の進捗状況について (速報値)

# 学校回線を集約接続



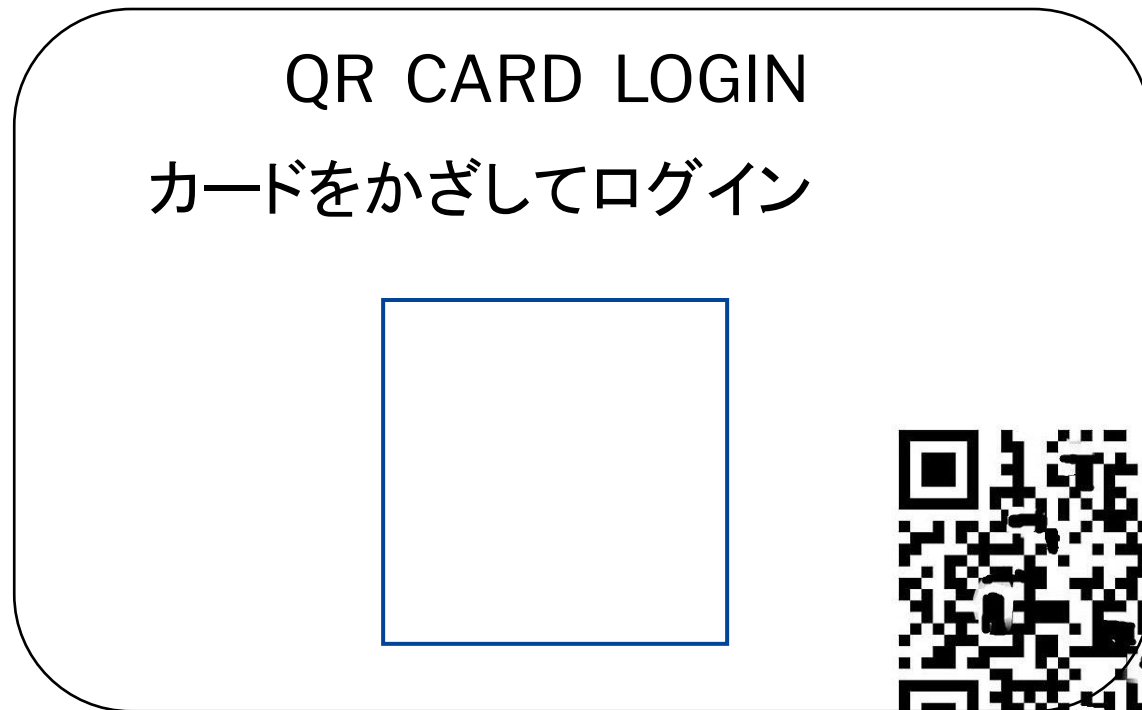


- ・1人1台 教室でも使ってみよう  
でもID/Passwordが・・・
- ・保護者が決めたPasswordを見童がわからない  
キーボードの字が違うので戸惑う





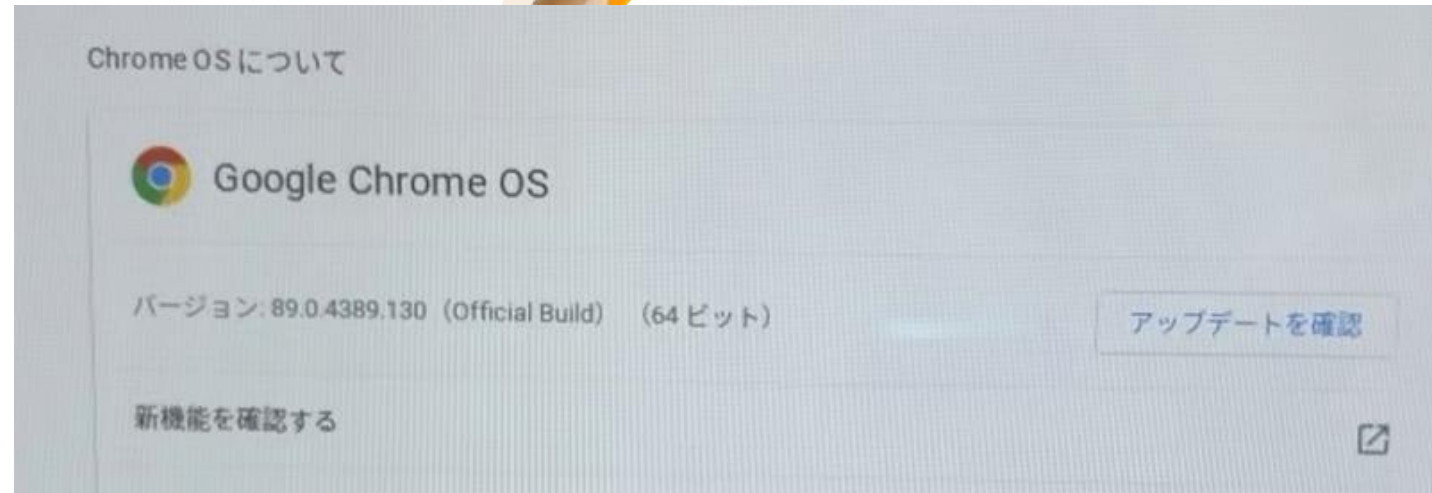
- ・Passwordは学校で決めて通知(問題があれば連絡)
- ・QRコード利用でのログイン(学校希望) interclass



プロフィール

QR入力と直接ID入力  
とは別々に作成される

# Chrome OS



・バージョン83→(85)87→89

3月      4・5月      6月

83 動画の編集がうまくいかない

87 QRコードがすぐに読めない

89 拡張機能 ファミリーリンク  
動画・写真の場所が変更⇒

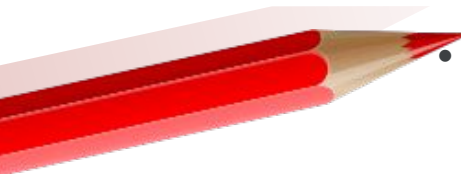
 画像と動画の保存先が変わりました

新しい画像と動画はファイルアプリのフォルダ ([マイファイル]> [カメラ]) に保存されるようになりました

# ファミリーリンク



## ファミリーリンクと学校用アカウントの連携

- 利用時間の上限やおやすみ時間などの保護者による使用制限は、お子様がファミリーリンクアカウントで Chromebook にログインしていれば常に適用されます。ファミリーリンクユーザーの学校用アカウントを追加すると、保護者による使用制限を適用した状態で、お子様は Google Classroom などの学校用アプリを使用できるようになります。
  - 学校用アカウントをファミリーリンクユーザーの予備のアカウントとして追加すると、お子様は次のことができるようになります。
    - アカウントを切り替えてメールを確認する。
    - 一部の Chrome ウェブストアの拡張機能と Android アプリ (Google Classroom など) の使用中にアカウントを切り替えて、保護者の管理下で学習を進める。
    - 学校用アカウントを使用してウェブサイトログインする。
- 

Googleより

# Chromebook

故障が比較的に少ない、何かあればリカバリーで対応

- ・自動リカバリー 下記メッセージが表示される

「システムの自動修復を行っています。しばらくお待ちください。」

OSのバージョンUPも自動 ⇒ ログアウト、終了を忘れずに

特に管理者は拡張機能にも注意をはらう





長橋真樹子